

土木工学・建築学委員会 IRDR分科会（第25期・第9回）、  
IRDR活動推進小委員会（第25期・第6回）、合同会議（第25期・第5回）

議 事 要 旨

1. 日 時        令和5年3月1日(水) 10:00-12:00

2. 会 場        オンライン会議 (zoom)

3. 議 題

1) 第4回合同会議以来の進捗

- 1) 前回議事要旨の確認
- 2) 合同タスクフォース会議での議事の紹介

2) 日本学術会議関連

- 1) 2月15日日本学術会議inつくば開催報告

3) 国際コンポーネント

- 1) IRDR関係
  - ・ ISC-UN collaboration and call for nominations

4) 国内コンポーネント

- 1) J-HoP関係
  - ・ トルコ南東部地震に対する緊急声明
  - ・ 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構のJHoPへの加入について
- 2) 持続会議2023関連

3) 提言関連

- ・ 提言（案）の承認

4) その他

4. 出席者（分科会）小池俊雄、今村文彦、大原美保、川崎昭如、小森大輔、齊藤大樹、鈴木康弘、寶馨、多々納裕一、田村圭子、塚原健一、林春男、堀宗朗、宮野道雄、小野裕一、西川智  
（小委員会）小浪尊宏、田端憲太郎、西口尚宏、廣木謙三、村上威夫、山崎律子  
（ともに名簿順、敬称略）

## 5. 議 事

## アクション・アイテム

### 1) 第4回合同会議以来の進捗

- 1) 前回議事要旨の確認
- 2) 合同タスクフォース会議での議事の紹介

### 2) 日本学術会議関連

#### 1) 2月15日日本学術会議inつくば開催報告

NIESと防災科学研究所で共催。午前中に、梶田会長ご参加のもと幹事会懇談会が開催されるとともに、4つの話題提供を行なった。午後は8つの登壇者によるパネルディスカッションなどを行なった。開発・環境、防災・減災、気候変動問題を、サステナビリティを動じて実現するかについて議論。

### 3) 国際コンポーネント

#### 1) IRDR関係

- ・ ISC-UN collaboration and call for nominations

#### 2) IRDR関係

- ・ ISCによる仙台防災枠組みの中間レビュー
- ・ 防災に関するファイナンス。政策投資銀行のBCM格付け投資等の事例を入れた。
- ・ 新しいことは、Exposure についての考慮。大都市の洪水浸水地域に人が移り住んできたり、難民などがそのような地域に住むようにことになることを考える必要がある。防災と地区計画を一緒に考える必要がある。
- ・ リスクコミュニケーションをもっとやらないといけない。

### 3) 国内コンポーネント

#### 1) J-HoP関係

- ・ 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構のJHoPへの加入について
  - J-Hopの加入団体が17になった。
- ・ トルコ南東部地震に対する緊急声明

- ・ 2/27、東北大とトルコの大学との共同セミナーを開催したこの提言をどう活動に繋げていくかが課題。

## 2) 持続会議2023関連

- ・ 9月7日と8日に日本学術会議で開催することが決定

## 3) 提言関連

- ・ 提言（案）の承認。3分科会で提言（案）を決定する。
  - 本日の承認後、土木工学・建築学委員会の委員長に査読を依頼する
  - インフラ高度化分科会ではてにおはの修正後、承認していただいた。
  - 地球惑星科学委員会でのメール審議。本日正午までが議論中で、正午から意見をもらい、投票を行うと言う段取り。
- ・ 16 ページに Inclusive、包摂性といったキーワードを加筆。強靱化を取る。
- ・ 人材育成が落ちている。ファシリテーターの話を入れ込んだら良いと思った。
- ・ 創造的復興。上がっていく、下がっていく。東北の復興
- ・ 提言等の提出チェックシートを記入して、提出する必要がある。

## 4) その他

- ・ 第9回洪水管理国際会議（ICFM9）の開催報告
  - 37カ国から468の登録があり、その半数以上が海外からであった。口頭が100件、ポスターが48件。
  - 市民講演会や現地視察ツアーなども実施した。
- ・ 3月下旬にニューヨークで46年ぶりの国連水会議2023が開催される。
  - 討議「気候、強靱性、環境に関する水」の共同議長を、日本とエジプトの代表が務める。
  - 水災害に関するハイレベル・パネル「第6回国連水と災害に関する特別会合」では国連事務総長、日本の天皇陛下などがご講演をされる。